日本におけるサイバー犯罪（インターネットやコンピュータを使用した犯罪）に関する次の記述ア～ウの正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

ア．2015～2019年のサイバー犯罪の検挙件数は，企業や個人のサイバーセキュリティ対策が強化されてきたことも影響し，減少が続いた。

イ．サイバー犯罪の手口の一つにフィッシングがある。フィッシングとは，金融機関や政府機関などを装って電子メールを送り，本物と思わせるようなWebサイトに誘導し，口座番号やパスワードを入力させて，情報をだまし取る行為のことをいう。

ウ．インターネット上の投稿のうち，爆破などの犯行の予告の投稿や特定の個人を脅迫する投稿は，匿名で書き込まれたものであってもアクセスログを調べるなどして発信端末が特定され，投稿者が逮捕されることがある。

	ア	イ	ウ
1．	正	正	誤
2．	正	誤	正
3．	誤	正	正
4．	誤	正	誤
5．	誤	誤	誤

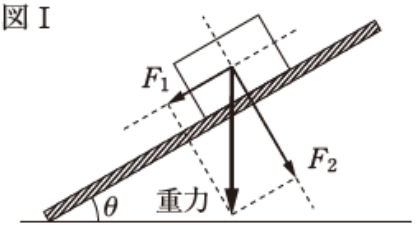
（正答　3）

斜面上で静止している物体に働く力に関する次の文中のア～ウの｛　　｝内からいずれも妥当なものを選んでいるのはどれか。

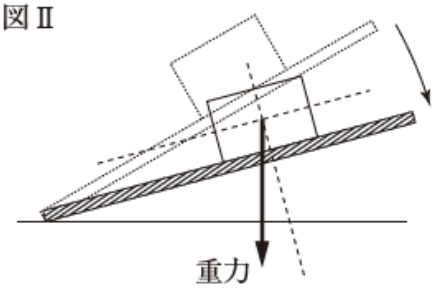
図Ⅰのように，水平となす角がθの粗い斜面上で物体が静止している。この物体には，重力のほかに，斜面と接している面に垂直抗力及び摩擦力が働いている。図Ⅰに示したように，重力は斜面に平行な方向の力F_1と斜面に垂直な方向の力F_2に分解することができる。摩擦力はF_1と釣り合っているので，摩擦力の向きはア｛F_1と同じ向き／F_1と逆向き｝であり，摩擦力の大きさはイ｛F_1より大きい／F_1と同じである｝。

いま，図Ⅰの状態から図Ⅱのようにθを小さくしたとする。すると，物体に働く重力の大きさは変わらないが，重力を分解したときの斜面に平行な方向の力の大きさは変化するので，これに伴って，摩擦力の大きさは図Ⅰの状態よりもウ｛大きく／小さく｝なる。

図Ⅰ



図Ⅱ



	ア	イ	ウ
1．	F_1と同じ向き	F_1より大きい	小さく
2．	F_1と同じ向き	F_1と同じである	大きく
3．	F_1と逆向き	F_1より大きい	大きく
4．	F_1と逆向き	F_1と同じである	大きく
5．	F_1と逆向き	F_1と同じである	小さく

（正答　5）

１～６の目がある３個のサイコロを同時に振ったとき，出た目の数の合計が16になる確率はいくらか。

1．$\frac{1}{18}$

2．$\frac{1}{24}$

3．$\frac{1}{27}$

4．$\frac{1}{36}$

5．$\frac{1}{54}$

（正答　４）